

ひろば 大代

No.504

令和3年7月号

大田市の人口	
(R3.7.1現在)	
大田市	33,529人
内大代町	321人
男	146人
女	175人

田植え囃子の思い出

大阪府（上市出身）

後藤憲二



今年はずより早い梅雨入りとなりました。傘の出番が多くなっています。終わりが見えないコロナ禍において、会いたい人に、会ってはいけない。行きたい所に、行ってはいけない。そんな状況になってもう1年半になろうとしています。私は6月に新型コロナウイルススワクチン集団接種の機会を得て2回目の接種が終わりました。1日も早く普通の日常に戻りますように。さて、今回、広報「ひろば大代」へ

の寄稿依頼をいただき、中学生の頃のことを思い出すことができました。ありがとうございました。断片的に心に残るシーン（時を経てなお空気感や匂いなど周囲の状況とともに覚えていること）は思い出せても、二つ返事で引き受けた田植え囃子の思い出は半世紀も前のことで、記憶も薄れ、たちまち立ち往生です。記憶の底から回想法で田植え囃子を探ってみます。昭和44年大代中学校入学と同時に「田植え囃子愛護少年団」として練習開始。大きな太鼓を前に付けて、上級生の所作を見よう見まねで習い覚えました。リズムにのって優雅な所作とは程遠く、ずり落ちる太鼓との格闘でした。（膝を曲げ、腰を落とす。スポーツ技術を習得するための基礎体力がここで培われたと確信。）2年生の冬頃から、采振りの練習。保存会の方のお宅に通い、優しく丁寧な指導を受けた記憶があります。ヤーアー五穀の……。昭和46年に開催された全国植樹祭で、昭和天皇、皇后両陛下石見路行幸啓のおり、大田市民会館にて小笠原流田植え囃子を披露。ステージに立った景色と陛下にお声掛けい

ただいた記憶は鮮明に残っています。仕上げの稽古はかなり厳しかったはずですが、数式や英単語と一緒に片っ端から忘れてしまっています。五穀豊穣を願う田植神事。子々孫々脈々と受け継がれる伝統について今更ながらネット検索をしている自分が恥ずかしい。

追伸 采振りの練習は真冬でめっちゃ寒かった。長刀振りの上級生がめっちゃ可愛かった。



「第36回都市とふるさとを結ぶ交流会」中止のお知らせ

大代高山会会長 佐藤哲朗

2019年12月に中国で確認された、新型コロナウイルス感染症は世界規模で蔓延しました。令和2年4月7日、東京都を中心に1回目の緊急事態宣言が発出され、東京オリンピックが1年延期されたのを始め、全国植樹祭しまね等多くの大規模な大会が延期や中止となりました。大代町でも、都市交流会・敬老会等全ての行事が中止となりました。8月からは感染症対策を施し小規模なイベントを再開しました。早期の終息を願い我慢する生活を続けていましたが、感染拡大に歯止めがかからず、この度、4回目の緊急事態宣言が発出されるに至りました。こうした中で昨年に続き今年も関西高山会・東京石見高山会の総会が中止となりました。お盆恒例の都市とふるさとを結ぶ交流会も中止することとしました。

ワクチン接種による発症や重症

化を防ぐことを期待し、大田市では、3月中旬から医療従事者等にワクチン接種が開始、現在65歳以上が接種中で、64歳以下の方は8月以降開始予定です。12歳以上の接種希望者全員の完了は12月頃（大田市は未定）と見込まれます。

政府もワクチン接種に全力を注いでいます。国民の大半が抗体を獲得すれば、以前のように都市とふるさとの行き来や旅行等も可能となります。

来年の都市交流会開催を期待してもう少し頑張りましょう。



H25.8.14 都市交流会

第5回 大代再発見！ 何でも聞いてみよう！

このコーナーは、大代町のいいところを再発見するコーナーです。不定期で掲載させていただきます。

ささゆりが咲きました！

弓久自治会・笠岡健典さん勝江さんご夫婦のお宅周辺には、毎年6月中旬頃からささゆりが咲きます。今年も「ささゆりが咲いたけ、見に来んさい。」と連絡を頂いたので見に行ってきました。

久具林道を走り、坂を上がったら目の前に広がるささゆりの群生地！

「・・・あれ？ささゆり一つ？・・・」
事前にお聞きしてはいましたが、今年にはささゆりの根をイノシシが食べてしまい、ほとんど咲いていなかったのです。「こんなことは初めてよ...」と笠岡さんもとても残念そうにおっしゃっていました。

敷地内の山の斜面には3か所くらいささゆりの群生地があり、毎年100〜200



株のささゆりが咲いているそうです。今年には数えると5つ。イノシシの被害が悔やまれます。

笠岡さんはプランターでの栽培もしておられ、そのプランターにはたくさんささゆりが見頃を迎えています。自家栽培は難しいと聞きますが、笠岡さんのお庭には50株のささゆりが甘い香りを漂わせながら可憐に咲いています。奥のプランターには小さな新芽が！種が落ちてたくさんの芽が出ていました。芽が伸びてあの可憐な花を咲かせるまでおよそ5〜6年。ささゆりが希少と言われる理由が分かった気がします。

「昔はささゆりを抱くほどあったんですよ。奥の田から株を掘ってきたり。」

娘の所へ持って行ったりしたのよ。」と、ささゆりの思い出を語ってくださいました。

「手入れは大変だけど、なけりや寂しい。ささゆりを育てて、たくさんの人に見に来てほしいね。」と優しい笑顔で取材に答えてくださいました。

笠岡さん、お忙しい中、素敵なささゆりを見せていただきありがとうございます。ありがとうございました。

みなさんもぜひ、希少なささゆりを見にお越しください。



またひとつ、大代町の良いところを再発見できました。

第6弾もおたのしみにも！

俳句

あすなる句会

椿 花田時子

さしき 挿木にと友の持ち来る額紫陽花

紫陽花の色の濃淡競い咲く

下市 今田文子

コロナの世見えないものに怯える日
農作業休む一刻梅雨籠る

川上 岩田律枝

くげ 夏菊を供花にと切れば香りたり
盛りなる額紫陽花に友偲ぶ

上市 横田美恵子

山百合の香りにつられ振り返る
日焼せし腕にコロナの注射痕

椿 柿丸寿枝

風鈴の紐つけ直し書く一句
水無月や夢を重ねつ年重ね



「お礼」

4月に行われた「大代まち歩き 山菜を食す」で講師をしていただいた久手町の坂本弘治さんより、竹で作ったお手製の菜箸を4膳、ご寄贈いただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



「夏の花が満開を迎えます」

昨年手付かずで荒れ果てていたまちなみの花壇が、この度生まれ変わりました！

四日市 谷口ミサ子さん、下市 森守さんが、木の伐採から草取り、耕すところまでご協力くださいました。

本郷 室田佑子さん、椿 花田武子さんからご寄贈いただいたひまわりが元気よく咲いています。ぜひ見に来てください。



「ひまわりの絆プロジェクト」



みなさん、『ひまわりの絆プロジェクト』をご存知ですか？これは、平成23年、京都府で交通事故により亡くなった4歳の男の子が、生前、幼稚園で大切に育てていたひまわりから採取した種を全国で開花させ、犯罪被害者遺族への支援、交通安全と命の大切さを訴えていく取り組みです。

先日、『ひまわりの絆プロジェクト in 大田』で採取された種を、大代駐在所 花本さんからいただき、子どもたちと一緒に植えました。まちなみ駐車場にあります。こちらの開花はまだ先ですが、このひまわりを見ていまい度、命の大切さと交通事故防止について考える機会にしましょう。



8月 行事予定

- ▼ 7日（土）おむすびの会夏祭り
- ▼ 14日（土）都市交流会（中止）
- ▼ 23日（月）連合自治会

- ▼ 5日・12日・19日・26日（木）

えびすの会 9時半～11時半

※行事は延期・中止になる場合があります。

